

できることから未来のために SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年に国際連合で採択された2030年までに達成する17の目標のことです。現在、世界では貧困、紛争、気候変動、感染症などのさまざまな課題が深刻な影響を及ぼしています。「持続可能な世界を実現する」ために、まずは、身近なSDGsへの取り組みについてご紹介します。（問・総合政策課総合政策係 Tel 83-8102）

食品ロスを減らそう！



世界で飢餓に苦しむ人は約7億人以上

世界の食料安全保障と栄養の現状（2023年版）によると、世界では、約7～8億人が飢えに苦しんでいます。さらに食事が十分に取れず栄養不足になっている5歳未満の子どもたちは、約1億4,800万人いると言われています。



日本の食品ロスの約46%は「家庭」から

日本では、令和3年度に約523万トンの食品ロスが発生し、そのうち家庭からは約244万トン、事業者からは約279万トンの食品が廃棄されています。また、真岡市では毎年、ごみ質検査を実施しており、令和5年度は燃えるごみの約20%を生ごみが占めています。



食品ロスを減らすポイント

「てまえどり」

・購入してすぐ食べる場合は、賞味期限や消費期限の迫った商品を積極的に選びましょう。

無駄なく「使い切り」

・買い物では、使い切れる分だけ購入しましょう。
・消費期限が短い食品は、小分けして冷凍するなどして食品ロスを防ぎましょう。

おいしく「食べきり」

ご家庭で
・野菜の皮を厚めに切り過ぎないようにしましょう。
・作り置きは、清潔な容器で保存し、早めに食べきりましょう。

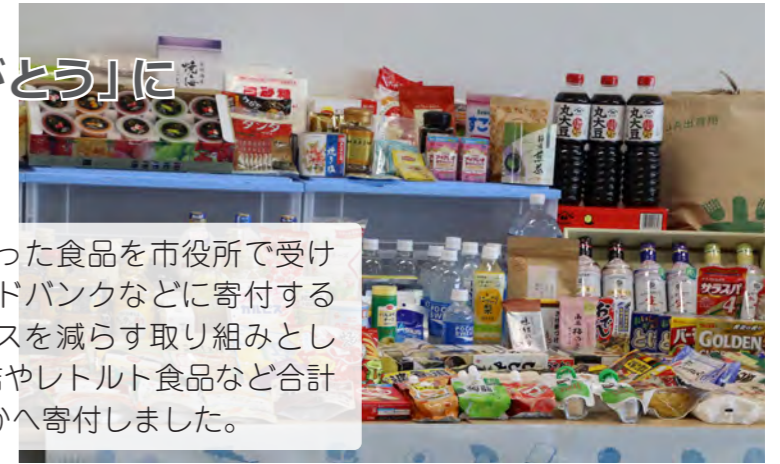
外食時

・宴会では、初めと終わりの15分間は自席で食事を楽しむ「**とちぎ食べきり15（いちご）運動**」を取り入れましょう。



総合政策課総合政策係 野中 主事

「もったいない」を「ありがとう」に フードドライブ



フードドライブとは、家庭などで余った食品を市役所で受け入れ、それらを地域の福祉団体やフードバンクなどに寄付する活動のことです。真岡市では、食品ロスを減らす取り組みとして昨年度10月に1カ月間実施し、缶詰やレトルト食品など合計376点を受け入れ、フードバンクもおかへ寄付しました。

フードドライブの食品の流れ

回収拠点で個人からの食品を受入 → 地域の福祉団体やフードバンクへ寄付 → 食品を必要とする人たちへ無償で提供



受付できる食品

- 未開封のもの
- 常温保存ができるもの
- 賞味・消費期限が2カ月以上のもの



受付できない食品

- 消費・賞味期限切れのもの
- 肉、魚、野菜などの生鮮食品や酒類
- 開封されていたり、常温保存ができないもの



フードドライブにご協力ください

実施予定日	受付時間	受付場所
10月1日(火)～31日(木) ※土日祝日を除く	午前8時30分～午後5時	市役所本庁舎2階環境課
10月27日(日)	午前9時～午後2時	市役所本庁舎1階ロビー
11月23日(土)	午前9時～午後2時	大産業祭（環境展）会場
2月9日(日)	午前9時～午後2時	市役所本庁舎1階ロビー

※日程は変更となる場合があります。

問・環境課ごみ減量係 Tel 83-8126



フードドライブについての詳細は市HP参照 ID22068